



令和3年10月28日

各 位

上場会社名 株式会社 グローセル
 代表者 取締役社長 石井 仁
 (コード番号 9995)
 問合せ先責任者 取締役副社長 上野 武史
 (TEL 03-6275-0600)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

令和3年9月30日に公表した令和4年3月期第2四半期累計期間(令和3年4月1日～令和3年9月30日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期第2四半期累計期間(令和3年4月1日～令和3年9月30日)連結業績予想数値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,000	210	260	△1,230	△50.51
実績値(B)	31,848	310	362	△1,111	△45.59
増減額(B-A)	848	100	102	118	—
増減率(%)	2.7	48.1	39.5	—	—
(ご参考)前期実績 (令和3年3月期 第2四半期)	26,907	△504	△457	△392	△16.26

2. 差異の理由

売上高は、自動車分野を中心とした販売が予想を上回り、予想比848百万円増(2.7%増)の31,848百万円となりました。利益面では、売上総利益の増加に加え、販管費及び一般管理費の圧縮に努めた結果予想を下回ったこと等により、営業利益は予想比100百万円増(48.1%増)の310百万円、経常利益は同102百万円増(39.5%増)の362百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同118百万円増の親会社株主に帰属する四半期純損失1,111百万円となりました。

なお、令和3年9月30日に公表した令和4年3月期通期(令和3年4月1日～令和4年3月31日)連結業績予想は、新型コロナウイルスのデルタ株感染再拡大の懸念や東南アジアにおける部品供給網の混乱による影響等が依然不透明な見通しであり据え置きいたします。

※1株当たり当期純利益の算出にあたり、今回修正予想では2021年9月30日時点の期中平均株式数(自己株式数を除く)を用いております。なお、株式付与型ESOP信託口及び持株会型ESOP信託口が保有する株式(2021年9月30日時点:1,607,640株)についても、自己株式に含めております。

※本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上